

2012年  
6月定例議会  
一般質問

# 汚染土壌・残土処分に毅然とした対応を!

豊島の汚染土壌の処理は、強い住民運動に押され、計画は中止となりましたが、施設の安全性や事業者の適正な管理、さらに、許可権を有する大津市の指導のあり方など様々な問題を浮き彫りにしました。

岸本市議は、今後の搬入処理に備えて、事業者  
に処理計画の報告義務や住民への情報公開、また  
地域住民との環境協定の策定などを求める大津市  
の条例や指導要綱を早急に改正・策定するよう求  
めました。

市は、「事前協議制度や事業者からの報告義務に  
ついて研究を進めると同時に、事業者自らが、地域  
に根ざした企業となるよう指導を重ねる」と答弁。  
今回の問題をどう教訓にするのか、市長の姿勢  
が問われています。

## 伊香立上龍華・比叡山霊園附近の 大量残土、まだ許しておくのか

平成16年頃からはじまった、伊香立上龍華、比  
叡山霊園横の大量の残土処分で、周辺や下流域の  
住民は土砂崩れや川の汚濁に、永年、苦しんで来  
ました。

日本共産党市議団や岸本市議が繰り返し、大津  
市に求めていた「土砂の埋立てを規制する条例」  
が平成22年10月に施行され、改善が期待されてい  
ましたが、改善どころか、大津市が、新たな残土  
処分を許可したことに多くの住民のみなさんは憤  
っています。

岸本市議は、この間、市が0数回に渡って指導  
を行っているにもかかわらず、改善されていないこ  
とを指摘し、条例に明記されている、措置や許可  
の取り消しなど早急に対応するよう求めました。

市は「状況に応じて必要があれば行政処分を視  
野に入れた対応も検討する」と答弁。

条例が審議された、平成22年2月の定例市議  
会では「施行後の規制効果と見直しを含む検証」  
が付帯決議されており、条例に不備があることで  
規制ができないのなら、早急に見直しも検討すべ  
きです。



こんにちは

# 岸本のり子です

発行 日本共産党  
大津湖西地区委員会  
連絡先 日本共産党大津市会議員  
岸本のり子  
大津市和邇春日2丁目  
08031163877  
2012. 6/ 24  
119

日本共産党

## 給食は学校教育の一環

越市長は平成25年度から、一部の中学校で、家庭の弁当と業者による配食サービスを選択する、スクールランチを取り入れるとしています。

岸本市議は「家庭からの弁当は制限があり、栄養バランスが摂りにくい」「学校給食法に基づかないスクールランチは就学援助の対象にならず、貧困やネグレクトなど、本来真っ先に必要な生徒への支援にならない」と指摘。

厳しい衛生管理のもとで、成長期の中学生に必要な栄養バランス、食の安全などが、すべての子どもたちに平等に保障できるよ

うです。 “教育の一環”として、中学校給食を行なうよう求めました。

教育長は「現在スクールランチの導入を検討しており、全校生徒への給食は考えていないが、長期の観点から検討すべき課題」と答弁。

すでにスクールランチを取り入れた自治体でも、値段、味、注文方法など様々な原因から低迷しており、すべての生徒の成長に責任を負うという本来の食育基本法や学校給食法の趣旨に立ち返り次々と全校生徒を対象にした給食に切り替えています。

## 志賀中学校の給食も スクールランチ!?

岸本市議が市長に、マニフェストに掲げたとおり志賀中学校の給食の継続を求めたところ、「私は継続させたいが、教育委員会の見解は市内中学校の格差は正を主張している……」などと消極的な答弁。市長は住民との約束はまもるべきです。



2005年7月撮影  
当時、志賀中の生徒に一番人気のカレー 自校方式の学校給食